



JFA 第46回全日本 U-12 サッカー選手権大会 山形県大会 実施要項

1. 趣 旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 名 称 JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会 山形県大会

3. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会 / 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社 / 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会

4. 主 管 山形県サッカー協会4種委員会

5. 後 援 日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / 山形市 / 米沢市教育委員会

6. 協 賛 Y K K / 花王 / 日清オイリオグループ / ゼビオ / 日本マクドナルド

7. 協 力 モルテン

8. 日程・会場

開催日：2022年10月8日(土)～11月6日(日)

会 場：1・2回戦 県内各会場

ベスト32・準々決勝 米沢市営人工芝サッカーフィールド(SF)

準決勝・決勝 山形市球技場

9. 参加資格

- ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」）第4種に加盟登録していること。
- ②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- ④2022年7月31日以降に、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- ⑤「参加チーム」及び「参加選手」は、U-12リーグに参加していること。
- ⑥引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者（監督・コーチ）は全員が本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。
- ⑦「参加チーム」はスポーツ傷害保険に加入していること。
- ⑧「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- ⑨「参加選手」は、本協会の発行した登録選手証を有するもの。

ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。毎試合ごとに本部に提出すること。

※登録選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」

https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html、及び「試合の開催について」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し順守の上、参加してください。

参加チームは「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会大会参加者健康チェック表チーム用」2部を記入作成し、マッチミーティングまで会場本部に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等も含めて作成してください。

10. 参加チーム及びその人数

県内U-12リーグに参加している91チーム。

- ①「加盟チーム」から複数チームの参加を認める。この場合以下の条件を全て満たすものとする。
 - ・「参加チーム」の中に6年生を5名以上登録し重複しないこと。
 - ・引率指導者は重複してはならない。
- ②「参加チーム」の構成は、選手20名以内とし、最小エントリーは8名とする。
- ③「加盟チーム」内の地区リーグからの県大会へのメンバー再編成は認めない。
- ④「参加チーム」の役員の構成は6名以内とし、最小エントリーは2名とする。他の「参加チーム」と重複しないこと。

11. 試合方法

- ①91チームによるトーナメント方式。
- ②試合時間は、40分間としインターバルは10分とする。
- ③トーナメント戦で規定の試合時間内に勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。
※準決勝・決勝は前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。
(延長までのインターバルは5分間とする)
- ④PK戦は3人で行い、その後はサドンデスとする。
- ⑤ベンチ入りする選手の数：8名以内とする。
- ⑥ベンチ入りする役員の数：役員2名以上3名以下（ただし、9.参加資格⑥に準ずること）
- ⑦ベンチサイドでの応援は禁止とする。
- ⑧ベンチはコートに向かって左がトーナメント表の左とする。

12. 競技規則

- ①2021/2022年度本協会「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。
- ②フィールドの広さは68×50mとし、ゴールは5×2.15m（少年用）を使用する。
- ③試合球は、モルテン社製「ヴァンタッジオ5000キッズ（F4A5000・4号球）」とし、ベスト32から本部で準備する。
- ④テクニカルエリアを設ける。
- ⑤試合の開始60分前に、本部にて主審及び当該チーム監督のマッチミーティングを行う。
提出物：メンバー表2部／ユニフォーム正副／選手・指導者登録証／あればユニフォーム広告掲示承認書

13. 競技者の数及び交代

- ①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ②登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ③ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ④試合中、不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止（棄権）とする。
※棄権とは、チームは負けとし、（0-5）とする。

14. 競技者のユニフォーム

- ①本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ③選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。ただし、背番号は1～99番とする。
- ④ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。また、フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ビブス着用でも可とし、ビブスの番号は問わない。
- ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

⑨アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

15. 警告・退場

- ①本大会は決勝大会と懲罰規定上の同一競技会とみなし、大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は決勝大会において順次消化する。
- ②本大会の規律委員会の委員長は、規律・裁定委員会委員長が務める。委員については、委員長が決定する。
- ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑤本大会において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。
- ⑥ベンチ（役員）が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。

16. 審判員

4人制審判とする。各チーム帯同審判2名（その内1名は3級審判以上の資格を有する）の準備をする事。主審（R）は3級以上に限る。帯同審判については、担当試合前に大会本部に審判証を提示して本人確認を行う事とする。大会事務局より割り当てられた審判を必ず行う（別紙の通り）。但し、主審・副審は両チームの協議とする。

17. 組み合わせ 「別紙の通り」

18. 上位大会への出場権

- ①優勝チーム・選手には JFA 第46回全日本U-12サッカー選手権大会への出場権を与える。
- ②優勝・準優勝・第3位のチームには、12月開催のフジパンカップへの出場権を与える。

19. 参加申込

- ①「参加チーム」は本協会 WEB登録システムにて必要事項を入力の上、2022年9月9日（金）～9月19日（月）23:00までに申し込みを完了する事（最終承認済み）。期日を過ぎた申し込みは受け付けない。
- ②原則、申し込み承認後、選手変更及びスタッフ変更・チーム情報変更は認めない。

20. 参加費 全チーム ￥5,000円

口座振込（9月30日（金）まで納入して下さい）

〔振込口座〕 山形銀行寒河江中央支店 普通 569038

山形県サッカー協会4種委員会事務局 吉田 浩昭

※振込は「チーム名」で、振込手数料はチーム負担でお願いします。

21. 連絡先

☆試合・大会・チームに関するお問い合わせ：各地区協会4種委員会まで

☆Web申し込みの際の不具合や不明な点、システム操作に関するお問い合わせ

JFA登録サービスデスク：TEL.050-2018-1990

営業時間：月～金 10:00～20:00（※祝日・年末年始除く）

土 10:00～17:00（※祝日・年末年始除く）

22. その他

- ①開会式は行わない。
- ②監督会議：2022年9月24日（土）山形県総合運動公園大会議室 14:00～
- ③本大会の実施に関して、本大会要項に定めない事項は山形県4種委員会にて協議のもと決定する。
- ④本大会参加中は試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員会にて事実を確認し処分の対象とする。

試合の開催について ※基本的にすべての行動での三密は避ける

【会場】

- ▶防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっての観戦や発声はしない。
- ▶各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

【試合開始】

- ▶用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

【試合中】

- ▶得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

【ベンチ内】

- ▶三密を避けた行動を心がける。
- ▶指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

【試合終了後】

- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせる事。
 - ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳などの症状がある場合）
 - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
 - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
 - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
 - ・飲水ボトルを共有しない。（各自個人毎の準備）
 - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。（密閉すること）
 - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
 - ・プレー中以外はマスク着用のこと。（熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す）
 - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
 - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。